

ライト付非常信号灯をお買い上げいただき、ありがとうございます。当製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。また、今後のメンテナンスのために、この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

特徴

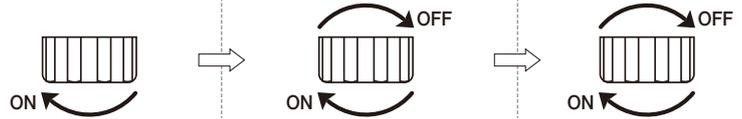
車載発炎筒の代替装備品。＜車検対応＞電子の光で夜の大きな安全性を追求。車両に合わせてスッキリ収まる、新3WAYボディ構造。

- 9個の高輝度発光ダイオードの強力な光が、あなたのクルマの存在を示します。
- 長時間点滅20時間以上（新品電池使用時）。発炎筒に比べて圧倒的な長時間発光で大きな安全性を維持。
- 底部マグネットにより、車両ボディなど（鉄部）にピタリと取付OK。
- 車種ごとに異なる発炎筒ホルダーに対応。（一部、非対応車あり）
- 発炎筒のように雨を気にすることもなく、簡単、確実操作。

■赤色点滅/点灯とライト（白色）点灯 使用方法

ステップアップ 切り替え・スイッチ メインスイッチをひねって ON ◀ - ▶ OFF の動作を繰り返すことで [赤色（点滅）] → [赤色（点灯）] → [白色（ライト灯）] の順に切り替わります。

1. [点滅] メインスイッチを ON ◀ の方向に回転すると LED（赤色）が点滅。
2. [点灯] その状態からメインスイッチを ▶ OFF、再度 ON ◀ にすると LED（赤色）が点灯。
3. [ライト点灯] 繰り返しメインスイッチを ▶ OFF、ON ◀ でライト（白色）が点灯。



※非常信号灯としての使用を最優先し、メインスイッチを、▶OFFして約30秒経過すると、ステップアップ切り替え機能が自動でリセットされ、次にメインスイッチを ON ◀ にした際には、いつでも「LED（赤色）点滅」になります。
※赤色（点滅または点灯）とライト（白色）点灯の同時発光はできません。

新3-WAY.ボディ構造

1-WAY.

32mmΦタイプ

32mmΦタイプの発炎筒が装備されているホルダーの場合、透明アダプタとメインスイッチアダプタを外さず、出荷状態そのままご利用いただけます。

1-WAY. 装着例

2-WAY.

27mmΦタイプ

27mmΦタイプの発炎筒が装備されているホルダーの場合、下記写真のようにメインスイッチアダプタ(A)と透明アダプタ(B)を取り外してご利用ください。

2-WAY. 装着例

3-WAY.

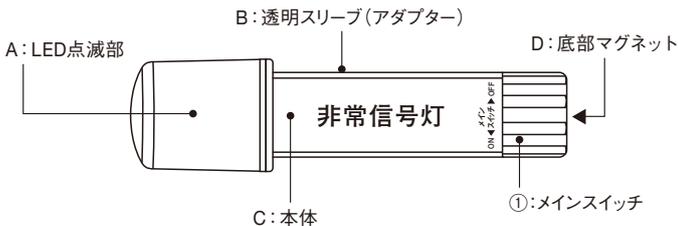
27mmΦストレートタイプ

本製品ボディの凹凸や出っ張りにより、ピタッと収まらない車両があります。この場合、左記2-WAY.の状態から、上記のように時計方向「右」に回すとレンズカバー部分が偏心に回転しボディに平らな部分が出来、ホルダーの形状に合わせてご利用いただけます。

3-WAY. 装着例

使用上のご注意

■各部の名称



■緊急使用時

- ①を左（時計逆回り）へ廻すとA部が点滅します。
- 周辺車両が確認しやすい箇所にD部を設置します。
- 非常信号灯は車両搭載発炎筒の代替としてご使用ください。

■電池交換

- ①を左に廻しAが点滅しますが、さらに左に廻し①を取り外し、電池（使用電池:単4乾電池 2本）を交換します。

■透明スリーブの外し方

- ①のメインスイッチに装着されているメインスイッチアダプタをスライドさせ取り外します。
- Bの透明スリーブをスライドさせ取り外します。
- Bの透明スリーブを再度使用になる場合、本体の前後で若干太さが異なり、取り付けを間違えるとBの透明スリーブにガタツキが発生しますので、スムーズに挿入できる方向で取り付けてください。

■注意事項

- 走行中の車内での点灯は行わないでください。

- 乾電池の使用期限が切れていないか、液漏れ及び点灯（点滅）の動作を定期的に確認してください。
- 底部の設置マグネットで車体に傷が生じる恐れがあります。脱着時や設置後は車体にこすらないでください。
- 本体を分解したり、強い衝撃を与えないでください。
- 本製品を車体に設置した状態で走行しないでください。
- 乾電池は単4型2本を使用し、＋を正しく入れてください。（液漏れや故障の原因になります。）
- 乾電池交換の際には必ず2本とも交換してください。
- 購入時に装着されています乾電池はモニターバッテリーですので、使用期限を確認し作動テストをしていただき、電池容量不足の場合は交換してください。
- 本製品の透明スリーブ廃却の場合は、一般ゴミとして処理してください。
- メインスイッチをOFFからONの方向に回転すると点滅します。締め込み中に



注意

本体は発炎筒の代替品の為、発炎筒ホルダーにきっちりと装着してください。（外箱の表示をご覧ください。）

■非常信号灯回転機構のご注意

非常信号灯の回転機構は、取り付ける車種により頭部がぶつかる事を防ぐ目的で考案された製品です。取付部の形状、スペースをお客様ご自身で確認し、対応をお願い致します。

- 回転機構は、取付方法決定後何回も回転させる事はおやめください。
- 何回も回転を繰り返した場合、頭部に緩みが出る場合があります。
- 一方方向に回転させる事はおやめください。（戻す場合は逆方向に回転させてください。）
本体内部の配線がねじれ、断線となる危険があります。● 回転の方法は「3-WAY.」に従ってください。